



市政 PICK-UP

新緑に映える時代絵巻



4月29日、錦帯橋周辺で「第37回錦帯橋まつり」が開催されました。

旧藩主感謝祭で幕を開けると、吉香公園周辺では、錦帯橋友好橋記念碑除幕式、お茶会、空手道演舞が行われ、河川敷周辺では岩国藩鉄砲隊保存会による火縄銃の演武や岩国太鼓などが披露されました。また、あでやかな着物をまとった女性たちによる「時代着物行列」を先頭に、県指定無形民俗文化財「南条踊」を熱演する子どもたち、地

第37回 錦帯橋まつり

元保存会による「奴道中」、参勤交代を模した「大名行列」などが五橋のアーチを彩りました。

壮大な時代絵巻が繰り広げられる様子に、見物客は沿道から拍手や歓声を送ったり盛んにカメラのシャッターを切ったりしていました。

午前中、あいにくの小雨模様だったこの日、人出は例年より少ない約2万6千人でしたが、新緑の中、今年も春の岩国を代表する盛大な祭りとなりました。

図観光振興課 ☎ 295116



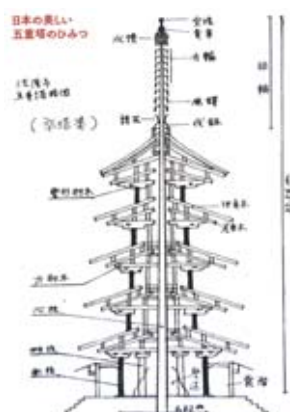
ヒントは五重の塔

4月19日、シンフォニア岩国で「そのあるかたちと東京スカイツリー」をテーマに、岩国市名誉市民の彫刻家である澄川喜一氏の講演会が開催されました。

澄川氏は、デザイン監修を務めた東京スカイツリーなどを画像で紹介しながら「高校生の時に錦帯橋の構造美に魅せられ、五重の塔の構造などを学んだことが東京スカイツリーにつながっている。東京スカイツリーは左右対称に見える場所は3カ所



▲東京スカイツリーの構造を説明する澄川喜一氏



▲澄川氏自作の『法隆寺五重塔略図』

そのあるかたちと東京スカイツリー

しかなく、反りがあるかたちが見えたり、膨らんで見えたりする。美しいレース編みをまとった江戸の貴婦人のような姿になった」と話されました。

また岩国工業高校生からの「学生生活で一番役に立ったことは何ですか」という質問に、澄川氏は「勉強は教わるのではなく自分で調べ、学ぶことが大切だと指導してくれた先生と出会ったことですね」と答えられました。

図文化振興課 ☎ 5211



▲記念碑を挟み談笑する福田良彦市長(左)と杭州市人民対外友好協会副会長 解崇明氏(右)

錦帯橋が結ぶ縁

岩国市と中国・杭州市との友好橋縁組10周年を記念した碑が吉香公園に建てられ、4月29日、除幕式が行われました。

杭州市の景勝地である西湖には、堤と堤を結ぶアーチ型の石橋や錦帯橋と同名の石橋があり、当時の岩国藩主吉川広嘉は、杭州の僧独立が伝えた書物「西湖遊覧志」に載っていたこれらの石橋をヒントに、1673年、錦帯橋を創建したとされています。

「友好橋縁組」記念碑除幕

杭州市から贈られた記念碑は、縦85・3cm、横1・2m、厚さ6・5cmの石版で、両市にある錦帯橋の由来などが日本語、中国語、英語で記され、西湖の石橋が描かれています。

除幕式には両市の関係者約100人が出席し、福田良彦市長や杭州市人民対外友好協会副会長の解崇明氏らが末永い友好を誓う式辞を述べた後、記念碑が除幕されました。

図都市交流室 ☎ 5018



▲除幕された記念碑